

報道発表資料の配付日時 5月28日（火）午前10時

札幌医科大学附属病院産科・周産期科での 母体血胎児染色体検査開始のお知らせ

札幌医科大学附属病院産科・周産期科（診療科長 齋藤 豪）では、かねてより計画中でありました「母体血胎児染色体検査に関する臨床研究」を開始することになりましたのでお知らせいたします。

本院産科・周産期科は、平成25年4月30日付けで、日本医学会から母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設として認可されました。これを受けて、母体血胎児染色体検査の予約受付を次のとおり、平成25年5月30日（木）から、始めることになりました。

1. スケジュール

予約、遺伝カウンセリング、採血開始日

- 1) 予約開始：5月30日（木）
- 2) 遺伝カウンセリング開始：6月6日（木）
- 3) 採血開始：6月11日（火）

2. 概要

- 1) 検査の内容を説明したり相談を受けたりするカウンセリングなどを経て、6月11日（火）から採血などの検査を始める。
- 2) 検査費用は、全額自己負担で20数万円になる見込み。
- 3) 血液は、米国の検査会社に送られ、結果は約2週間後に届く。

3. 対象

今回の臨床研究内容は、この検査にかかわる遺伝カウンセリングに関するアンケート調査で、研究対象となるのは、下記のいずれかに該当するハイリスクの妊婦さんです。

1. 胎児超音波検査で、胎児が染色体数的変異を有する可能性が示唆された方
2. 母体血清マーカー検査で、胎児が染色体数的変異を有する可能性が示唆された方
3. 染色体数的変異を有する児を妊娠した既往のある方
4. 35歳以上の高齢妊娠の方
5. ご夫婦のいずれかが均衡型ロバートソン転座を有していて、胎児が13トリソミーまたは21トリソミーとなる可能性が示唆される方

※当院の場合は、市中病院からの紹介制になっております。当院での検査を希望される際には、上記のリスクのある妊婦さんで、現在通院中の病院/クリニックからの紹介状を頂いた上での予約になります。

4. 検査・予約について

この検査は、母体血中の胎児由来の cell-free DNA を用いて胎児のトリソミー（21 トリソミー、18 トリソミー、13 トリソミー）を検出する検査です。今回の検査は従来の検査よりもはるかに精度は高いのですが、陽性の場合の確定診断には羊水穿刺による染色体検査が必要とされているという点、また、検査できるのは上記3つのトリソミーのみであるという点をご理解の上で研究の参加となります。

予約概要

予約受付先：産科・周産期科外来【電話：011-611-2111(内線 3398)】

受付時間：毎週 木曜 午後3時～4時

遺伝カウンセリング：毎週 木曜日午後、金曜日午後

※予約枠超過の場合には、紹介状があってもお断りする場合がありますのでご了承願います。

担当医：札幌医科大学附属産科・周産期科 遠藤俊明、石岡伸一

※その他詳細は、本学附属病院のウェブサイトをご参照願います。

5. 参考

本研究は正式には「無侵襲的出生前遺伝学的検査である母体血中 cell-free DNA 胎児染色体検査の遺伝カウンセリングに関する研究」という名称で、多施設共同研究としてスタートします。

尚、本研究は当院臨床研究審査委員会ならびに日本医学会の承認を得ております。

詳細は NIPT コンソーシアムのウェブサイト(<http://www.fetusjapan.jp/nipt/>)でご確認ください。

※参考資料として、患者さま用のお知らせを別添にて添付いたします。

【お願い】患者様へのインタビュー及びカウンセリング風景や採血等の取材撮影については、ご遠慮いただいておりますので予めご了承ください。

○本プレスリリースに関する問い合わせ先

実施責任者：札幌医科大学医学部 産婦人科学講座 教授 齋藤豪

※取材申し込みにつきましては、大学広報・阿部宛てにご連絡をお願いいたします。

大学広報 阿部：011-611-2111 (内線2165)